



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年7月29日

上場取引所 東

上場会社名 フジッコ株式会社

コード番号 2908 URL <http://www.fujicco.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福井 正一

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営管理本部長 (氏名) 奥平 武則

TEL 078-303-5921

四半期報告書提出予定日 平成28年8月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	14,586	3.3	1,059	5.9	1,221	5.1	808	△21.9
28年3月期第1四半期	14,114	5.0	1,000	23.4	1,162	27.1	1,035	76.0

(注)包括利益 29年3月期第1四半期 773百万円 (△28.4%) 28年3月期第1四半期 1,080百万円 (31.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	27.06	27.05
28年3月期第1四半期	34.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	69,426	58,403	84.1
28年3月期	70,003	58,110	83.0

(参考)自己資本 29年3月期第1四半期 58,376百万円 28年3月期 58,110百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	17.00	—	17.00	34.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	17.00	—	17.00	34.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	29,800	4.2	2,400	0.7	2,550	△1.3	1,750	△12.3	58.58
通期	61,350	4.5	5,100	2.5	5,400	0.4	3,700	△5.6	123.86

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
 新規 一社 (社名) 、 除外 2社 (社名) フジコン食品株式会社及びフジッコフーズ株式会社
 (注) 詳細は四半期決算短信(添付資料)3ページ「当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期1Q	34,991,521 株	28年3月期	34,991,521 株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	5,119,933 株	28年3月期	5,119,917 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期1Q	29,871,600 株	28年3月期1Q	30,437,714 株

(注) 期末自己株式数には、「株式給付信託(J-ESOP)導入において設定した資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)」が保有する当社株式数(106,800株)が含まれております。また、平成29年3月期第1四半期連結累計期間の期中平均株式数の計算において控除する自己株式には、「株式給付信託(J-ESOP)導入において設定した資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)」が保有する当社株式の期中平均株式数(106,800株)が含まれております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
4. 補足情報	9
(1) 販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀による経済政策や金融緩和を背景に緩やかな回復基調で推移しました。一方で、中国等における景気の下振れや英国の欧州連合（EU）離脱決定による世界景気の減速懸念など、より一層強まる先行き不透明感から消費マインドが改善されない状況が続きました。

食品業界においては、原材料価格に影響を及ぼす為替の変動は測れず、また個人消費は依然として低迷しており、引き続き厳しい経営環境となりました。

このような環境の中、当グループにおいては、平成31年3月期までの3カ年の新たな中期経営計画がスタートしました。“選択と集中”による高成長・高収益性の事業形成に取り組むとともに、将来の「飛躍に向けた基盤固め」として、より一層のガバナンス体制の強化を図るべく、当社は6月の定時株主総会の承認を経て監査等委員会設置会社へ移行しました。

売上高は、昆布製品が前年実績をわずかに下回りましたが、ヨーグルト製品、デザート製品が大きく伸長し、惣菜製品、豆製品が堅調に推移したことから、145億86百万円（前年同四半期比3.3%増）となりました。

利益面では、営業利益は10億59百万円（前年同四半期比5.9%増）、経常利益は12億21百万円（前年同四半期比5.1%増）となりましたが、前第1四半期連結累計期間には投資有価証券売却益を特別利益として計上していたため、当第1四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益は8億8百万円（前年同四半期比21.9%減）となりました。

製品分類別の販売状況は、次のとおりであります。

惣菜製品は、「つけもの百選」シリーズの終売による影響がありましたが、日配惣菜が大きく伸長し、惣菜製品全体の売上高は堅調に推移しました。

昆布製品は、塩こんぶ、とろろ昆布が伸長したものの、佃煮、だし昆布等が前年実績を下回ったことから、昆布製品全体の売上高は前年実績をわずかに下回る結果となりました。

豆製品は、煮豆ではレギュラータイプの「おまめさん」シリーズが不振となりましたが、食べきりタイプの「おまめさん豆小鉢」が大きく伸長し、また機能性表示食品の「そのままがおいしい蒸し大豆」を中心とした水煮・蒸し豆が大幅に伸長したことから、豆製品全体の売上高は堅調に推移しました。

ヨーグルト製品は、量販チャンネルの「カスピ海ヨーグルト」が堅調に推移するとともに、通信販売チャンネルのサプリメント「善玉菌のチカラ」が大きく伸長し、ヨーグルト製品全体の売上高は好調に推移しました。

デザート製品は、「フルーツ×お酒」をコンセプトとした新商品「大人カクテルジュレ」の投入により品群全体の活性化に注力し、デザート製品の売上高は前年実績を大きく上回る結果となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ5億76百万円減少し、694億26百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少によるものです。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて9億26百万円減少し、89億88百万円となりました。これは主に、未払法人税等の減少によるものです。固定負債は、前連結会計年度末と比べて56百万円増加し、20億34百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ2億93百万円増加し、584億3百万円となりました。

これらの結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の83.0%から84.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当グループを取り巻く事業環境は、依然として厳しい状況が続いておりますが、当期の連結業績は概ね当初（平成28年3月期決算発表）の予想どおり推移すると見込んでおります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結累計期間において、平成28年4月1日付で当社は完全子会社のフジコン食品株式会社及びフジッコフーズ株式会社を吸収合併いたしました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日。)を当第1四半期連結会計期間から適用しておりますが、繰延税金資産の回収可能性に関する会計処理の方法は従来と同じであります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,643	13,281
受取手形及び売掛金	8,569	8,778
商品及び製品	790	858
仕掛品	319	341
原材料及び貯蔵品	5,374	5,110
繰延税金資産	436	340
その他	197	454
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	29,326	29,162
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	33,679	33,714
減価償却累計額	△21,872	△22,048
建物及び構築物(純額)	11,807	11,666
機械装置及び運搬具	22,532	22,588
減価償却累計額	△15,711	△15,970
機械装置及び運搬具(純額)	6,821	6,617
工具、器具及び備品	1,857	1,876
減価償却累計額	△1,483	△1,503
工具、器具及び備品(純額)	374	372
土地	13,424	13,228
建設仮勘定	9	46
有形固定資産合計	32,436	31,931
無形固定資産		
ソフトウェア	179	157
その他	134	132
無形固定資産合計	314	290
投資その他の資産		
投資有価証券	6,726	6,669
繰延税金資産	99	79
その他	1,108	1,302
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	7,926	8,042
固定資産合計	40,677	40,264
資産合計	70,003	69,426

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,697	3,872
短期借入金	500	675
未払金	2,959	2,720
未払法人税等	1,059	340
未払消費税等	308	397
賞与引当金	560	117
預り金	150	365
その他	680	499
流動負債合計	9,915	8,988
固定負債		
繰延税金負債	605	581
役員退職慰労引当金	301	378
退職給付に係る負債	1,070	1,074
固定負債合計	1,977	2,034
負債合計	11,892	11,023
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,566	6,566
資本剰余金	7,405	7,405
利益剰余金	49,364	49,665
自己株式	△7,024	△7,024
株主資本合計	56,311	56,612
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,953	1,911
退職給付に係る調整累計額	△153	△147
その他の包括利益累計額合計	1,799	1,763
新株予約権	-	26
純資産合計	58,110	58,403
負債純資産合計	70,003	69,426

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	14,114	14,586
売上原価	8,203	8,370
売上総利益	5,911	6,215
販売費及び一般管理費	4,910	5,156
営業利益	1,000	1,059
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	124	81
受取賃貸料	18	19
売電収入	14	14
事業譲渡益	-	52
その他	15	15
営業外収益合計	174	182
営業外費用		
支払利息	1	0
賃貸費用	4	10
為替差損	-	1
売電費用	5	5
その他	1	2
営業外費用合計	12	20
経常利益	1,162	1,221
特別利益		
投資有価証券売却益	341	-
その他	9	-
特別利益合計	350	-
税金等調整前四半期純利益	1,512	1,221
法人税、住民税及び事業税	415	305
法人税等調整額	60	107
法人税等合計	476	413
四半期純利益	1,035	808
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,035	808

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	1,035	808
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	40	△41
退職給付に係る調整額	3	6
その他の包括利益合計	44	△35
四半期包括利益	1,080	773
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,080	773
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 販売の状況

(単位：百万円)

製品情報	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)		増減額	(参考) 前連結会計年度 (自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比
惣菜製品	4,322	30.6%	4,482	30.7%	160	18,263	31.1%
昆布製品	4,048	28.7%	4,043	27.7%	△5	17,569	29.9%
豆製品	3,103	22.0%	3,236	22.2%	132	13,598	23.2%
ヨーグルト製品	1,416	10.0%	1,545	10.6%	129	4,879	8.3%
デザート製品	879	6.2%	962	6.6%	82	2,999	5.1%
その他製品	343	2.5%	315	2.2%	△27	1,407	2.4%
合計	14,114	100.0%	14,586	100.0%	471	58,718	100.0%

(注) 増減額は、当第1四半期連結累計期間と前第1四半期連結累計期間との比較で表示しております。